

対カーボベルデ共和国 事業展開計画

2020年 4月 現在

基本方針 (大目標)	持続可能な成長による安定した社会の形成支援																																																																																													
重点分野 1 (中目標)	経済基盤整備支援																																																																																													
開発課題 1-1 (小目標)	<p>【現状と課題】</p> <p>カーボベルデは、2007年（平成19年）に後発開発途上国（LDC）を卒業。現在は中所得国に分類されているが、狭い国土、崖島という隔絶された地理条件、極めて限られた降雨量、土壌悪化等による穀物生産が困難な土地条件や天然資源の欠如といった経済的に不利な条件を多く抱えている。</p> <p>2017年にカーボベルデ政府が策定した「持続的開発戦略的計画2017-2021」（PEDS）では、経済発展と環境保全の両立、社会的包摂を伴う格差是正、民主主義と国家主権の強化によって、大西洋に位置する地政学的な利点を生かした経済構造への転換を図ることを国家の開発目標に掲げており、持続的な発展の土台となる基礎インフラの整備が課題となっている。</p> <p>我が国は、2020年2月に官民合同投資促進ミッションをセネガルに派遣した際に、カーボベルデの政府代表者のセネガル来訪を働きかけ、ミッションに参加した日本企業にカーボベルデにおける投資機会をアピールし、日本企業による投資を通じたカーボベルデの経済開発に貢献する姿勢を打ち出したところ、ODAによる既存の取り組みとの有機的な連携を目指す。</p>				<p>【開発課題への対応方針】</p> <p>競争力のある経済の実現及び持続的な発展を可能にするべく、再生可能エネルギーを含む電力セクター改革や安定的な水供給に資する基礎インフラ整備の強化を円借款等を活用して支援する。</p> <p>日本からの投資を促進するため、ABEイニシアティブ等既存の取り組みを通じた支援を継続する。</p> <p>上記方針を通じ、持続可能な開発目標（SDGs）の4（教育）、6（水・衛生）、7（エネルギー）、8（経済成長と雇用）、9（インフラ、産業化、イノベーション）、14（海洋資源）、17（実施手段）等の達成に貢献する。</p>																																																																																									
経済インフラ整備支援	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="6">実施期間</th> <th rowspan="2">支援額 (億円)</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>2019 年度 以前</th> <th>2020 年度</th> <th>2021 年度</th> <th>2022 年度</th> <th>2023 年度</th> <th>2024 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>有償</td><td>■</td><td>■</td><td>■</td><td>61.86</td><td></td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>有償</td><td>■</td><td>■</td><td>■</td><td>152.92</td><td></td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>無償</td><td>■</td><td>■</td><td></td><td>2.00</td><td></td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>技プロ</td><td></td><td>■</td><td>■</td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>技プロ</td><td></td><td>■</td><td>■</td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>個別研修</td><td></td><td>■</td><td>■</td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>課題別研修他</td><td></td><td>■</td><td>■</td><td></td><td></td> </tr> </tbody> </table>						実施期間						支援額 (億円)	備考	2019 年度 以前	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度					有償	■	■	■	61.86						有償	■	■	■	152.92						無償	■	■		2.00						技プロ		■	■							技プロ		■	■							個別研修		■	■							課題別研修他		■	■		
実施期間						支援額 (億円)	備考																																																																																							
2019 年度 以前	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度																																																																																									
				有償	■	■	■	61.86																																																																																						
				有償	■	■	■	152.92																																																																																						
				無償	■	■		2.00																																																																																						
				技プロ		■	■																																																																																							
				技プロ		■	■																																																																																							
				個別研修		■	■																																																																																							
				課題別研修他		■	■																																																																																							
重点分野 2 (中目標)	社会的包摂性の促進と格差是正に資する支援																																																																																													
開発課題 2-1 (小目標)	<p>【現状と課題】</p> <p>カーボベルデは、穀物生産が困難な土地条件によって多くの食料を輸入に依存している。また、主な収入源となっている観光収入、海外出稼ぎ労働者からの送金、海外直接投資（FDI）は欧州経済の動向の影響を受けやすく、経済構造上の脆弱性を抱えているため、依然として所得格差が大きく、一日1.2ユーロ以下で暮らす貧困層が存在する。そのため、食料安全保障の確保や格差是正に資する支援が重要である。</p> <p>また、2020年3月以降、新型コロナウイルスの感染拡大により、医療施設の人的・設備的能力に大きな負担がかかるとともに、移民送金に依存する村落部の住民の経済・社会状況が悪化している。</p>				<p>【開発課題への対応方針】</p> <p>草の根・人間の安全保障及び食糧援助等の無償資金協力を活用して食料安全保障の確保及び格差是正に資する支援を実施し、貧困削減に貢献する。</p> <p>新型コロナウイルスによる経済・社会的影響を緩和するため、食糧援助等の既存のスキームを活用した支援等を検討する。</p> <p>上記方針を通じ、持続可能な開発目標（SDGs）の1（貧困）、2（飢餓）、3（保健）等の達成に貢献する。</p>																																																																																									
基礎的社会開発支援	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="6">実施期間</th> <th rowspan="2">支援額 (億円)</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>2019 年度 以前</th> <th>2020 年度</th> <th>2021 年度</th> <th>2022 年度</th> <th>2023 年度</th> <th>2024 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>食糧援助</td><td>■</td><td>■</td><td></td><td>2.00</td><td></td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>食糧援助</td><td>■</td><td>■</td><td></td><td>2.50</td><td></td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>課題別研修他</td><td>■</td><td>■</td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>草の根無償</td><td>■</td><td></td><td></td><td>0.99</td><td></td> </tr> </tbody> </table>						実施期間						支援額 (億円)	備考	2019 年度 以前	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度					食糧援助	■	■		2.00						食糧援助	■	■		2.50						課題別研修他	■	■								草の根無償	■			0.99																															
実施期間						支援額 (億円)	備考																																																																																							
2019 年度 以前	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度																																																																																									
				食糧援助	■	■		2.00																																																																																						
				食糧援助	■	■		2.50																																																																																						
				課題別研修他	■	■																																																																																								
				草の根無償	■			0.99																																																																																						
その他	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="6">実施期間</th> <th rowspan="2">支援額 (億円)</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>2019 年度 以前</th> <th>2020 年度</th> <th>2021 年度</th> <th>2022 年度</th> <th>2023 年度</th> <th>2024 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td>個別研修</td><td>■</td><td>■</td><td></td><td></td><td></td> </tr> </tbody> </table>						実施期間						支援額 (億円)	備考	2019 年度 以前	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度					個別研修	■	■																																																															
実施期間						支援額 (億円)	備考																																																																																							
2019 年度 以前	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度																																																																																									
				個別研修	■	■																																																																																								
その他個別案件			アフリカ地域総合災害対策	個別研修																																																																																										

【凡例】 「協準」（＝全ての協力準備調査）、「詳細設計」（＝詳細設計）、「技プロ」（＝技術協力プロジェクト）、「開発計画」（＝開発計画調査型技術協力）、「個別専門家」、「個別機材」、「個別研修」、「課題別研修他」（＝課題別研修及び青年研修）、「JOCV」（＝JICA海外協力隊）、「第三国専門家」、「第三国研修」、「現地国内研修」、「科学技術」（＝科学技術協力（技プロ型及び個別専門家型））、「草の根技術」（＝草の根技術協力）、「OC省技術」（＝外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力）、「民間提案型技協」（＝開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業）、「無償」（＝以下に格記するサブスキームを除く全ての無償資金協力）、「水産無償」（＝水産無償資金協力）、「食糧援助」（＝食糧援助）、「一般文化」（＝一般文化無償資金協力）、「草の根文化」（＝草の根文化無償資金協力）、「緊急無償」（＝緊急無償資金協力）、「日本NGO」（＝日本NGO連携無償資金協力）、「草の根無償」（＝草の根・人間の安全保障無償資金協力）、「有償」（＝円借款、海外投資）、「情報収集調査」（＝基礎情報収集・確認調査）、「マルチ」（＝国際機関等を通じた多国間協カスキーム）、「基礎調査」（＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「基礎調査」）、「案件化調査」（＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「案件化調査」）、「普及・実証・ビジネス化事業」（＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「普及・実証・ビジネス化事業」）、「実証」（＝実証期間）、「破綻」（＝破綻）、「――」（＝実施予定期間）

※この凡例にない略語を使用する場合は凡例に当綴略語を記載したうえで使用する。